

# 公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2021年6月12日（土）13時00分～16時20分

場所： 日本天文学会 事務所（東京都三鷹市大沢2-21-1）

（学会事務所よりオンライン会議システムを用いて開催。）

出席代議員：相川祐理、赤堀卓也、縣 秀彦、秋山正幸、浅井 歩、井岡邦仁、生田ちさと、一本 潔、犬塚修一郎、今井 裕、梅村雅之、江草芙実、榎戸輝揚、大朝由美子、大内正己、大須賀 健、太田耕司、大向一行、柏川伸成、河野孝太郎、鈴木 建、須藤 靖、津村耕司、鶴 剛、土居 守、長田哲也、野村英子、深川美里、福江 純、藤沢健太、細川隆史、本間希樹、松下恭子、百瀬宗武、山崎 了、横山央明、吉田直紀（以上 37 名であるが、事情により遅れて参加した相川祐理代議員、途中退席した榎戸輝揚代議員を除いた出席代議員数は 35 名である。）

欠席代議員：榎戸輝揚、奥村幸子、北山 哲、郷田直輝、谷本 敦、坪井陽子、米徳大輔（以上 7 名、全員委任状あり）

出席理事：梅村雅之会長、田村元秀副会長、馬場 彩副会長、鈴木 建庶務理事、伊王野大介庶務理事、鹿野良平会計理事、早野 裕会計理事（梅村雅之会長、鈴木 建庶務理事は代議員を兼任している。）

出席監事：大石雅寿、関井 隆

また、その他に阿部天体発見賞選考委員長、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数 43 名のうち、出席代議員が 35 名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

また、オンライン会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前交代議員総会（2021 年 3 月 19 日）の議事録が確認された。

## II. 報告

II-1. 日本天文学会 2020 年度監査報告（資料 3、大石）

2021 年 5 月 13 日に開催された監査の報告がされた。2020 年度の事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることを確認したことが報告された。ただし、日本学術会議会員任命拒否問題に関する日本天文学会からの声明発出を審議する代議員総会での審議過程が、違法となる可能性があったとの指摘があったため検討した。その結果、違法とまでは言えないものの複数の不適切な点を確認された。これを踏まえ、次期理事会において「日本天文学会代議員総会運営細則（仮称）」を制定し、この細則に基づいて代議員総会を運営することが提言された。これらの内容は監事意見書・提言書として提出された。

### III. 議題

#### III-1. 日本天文学会 2020 年度事業報告書の承認（資料 4、鈴木）

2020 年度の事業報告が説明され、賛成多数で承認された。

#### III-2. 日本天文学会 2020 年度決算書の承認（資料 5、鈴木）

2020 年度の決算書が説明され、賛成多数で承認された。

#### III-3. 研究奨励賞/審査結果等について（資料 6、大内）

2021 年 1 月 11 日に行われた代議員総会で候補者 3 名が提示されたが、以下の 3 点に関する意見が提起されたため、委員会で審議を重ね、前回の推薦結果を検証するとともに、奨励賞候補者全員に対する再評価と被推薦者の選出について審議した。

(1) 被推薦者全員の所属が同じであった。 特定の研究機関に候補者が多く、同じ所属の被推薦者が選ばれやすかったこと、さらに過去 10 年間に同年度の受賞者全員が同じ所属機関だったことが複数回あったことから、被推薦者全員の所属が同じだったことは特別ではなかったと考えられる。また、前回提出された被推薦者 3 名は、国内外の様々な研究機関を経て現在の研究機関に所属している状況である。加えて、現在の所属が同一だったことを理由に、被推薦者として選ばないという判断を委員会として行う正当な理由は見つからなかった。従って、前回提出された被推薦者全員の所属が同じであったことに問題はなかったとの結論に至った。

(2) 「おおよそ 5 年間」の基準が推薦者の判断に依存しており公平に扱われていなかった。 候補者 20 名全員についておおよそ 5 年間にあたる業績を、推薦書によらず、独自に調査し、その上でもう一度選考を行なった。具体的には、各候補者に対して選考委員の中で担当を決め、研究の前後関係も理解するため 2012 年以降の業績(主著論文と共著論文)のデータを NASA ADS などのインターネットで調べ、さらに共著論文の場合は果たしたであろう役割について考察を行なった。ここで、情報が非常に多く、見落とす可能性もあるため、各候補者に対する担当者は 2 名とし、2 名が独立して調べた上で、選考委員会で報告および議論がなされた。以上の結果、12 月開催の選考委員会で議論されていなかった業績は各候補者に対して量の多少はあれ存在していたものの、いずれも新たな受賞理由になりうる重要な業績は見つからなかった。そのため、推薦者の書き方により不公平は生じなかったと判断した。

(3) 利益相反の扱いが不十分で議論に影響を与えた可能性があった。 利益相反の扱いの妥当性を検証し、さらにそれを踏まえて受賞候補者の再選定を、大学院生当時の研究からの発展性、研究者としての独立性、共同研究者の多様性、などの観点に特に注意して検討を行った。結果、参加した 5 名の委員全員の意見が一致し 2020 年 12 月当初に被推薦者であった 3 氏を変えず推薦すべきであるとの結論に達した。

委員会の結論を受け、研究奨励賞の候補者 3 名が推薦され、推薦理由が説明されたのち、3 名とも賛成多数で承認された。また、来年度以降に行うべき改善点についての議論がなされ、それらは次期委員会へ引き継がれることが確認された。

#### III-4. 天文功労賞(短期/長期)について（資料 7、阿部）

2021 年 1 月 11 日に行われた代議員総会で推薦者の選考手続きに不備があったこと（委員会までに推薦文が準備されていなかったこと。被推薦者に推薦する旨の事前通知がされていたこと）が指摘されたため、天文学会で定められている手続きに従って、正式な推薦文を基にゼロペー

スから委員会で再度審議したことが報告された。その上で、天文功労賞（短期部門）3氏（2グループ）が推薦され、推薦理由が説明されたのち、3氏（2グループ）とも賛成多数で承認された。また、天文功労賞（長期部門）1グループが推薦され、推薦理由が説明されたのち、賛成多数で承認された。また、来年度以降に行うべき改善点についての議論がなされ、それらは次期委員会へ引き継がれることが確認された。

### III-5. 年会費と年会参加費等の改定について（資料8、鹿野）

2020年12月26日に開催された理事会および2021年1月11日に開催された代議員総会にて仮承認された次の改訂案が再度審議された：正会員（一般）の年会費を18,000円から16,000円、年会参加費を3,000円（講演時は免除）から5,000円（講演時も負担）、講演登録費を3,000円から2,000円に変更すること、および正会員（学生）を10,000円から8,000円、年会参加費を3,000円（講演時は免除）から2,000円（講演時も負担）、講演登録費を3,000円から2,000円に変更する。本提案を2022年度の入会から反映させることと、関連する会費に関する細則の改定が賛成多数で承認された。

### III-6. 岡村定矩氏 名誉会員推薦について（資料9、梅村）

2021年5月21日に開催された理事会での承認に基づき、岡村定矩氏を名誉会員する旨の推薦があった。岡村定矩氏は、銀河・銀河団の形態の研究、装置開発や大規模サーベイの推進、日本天文学会第46代理事長、「シリーズ現代の天文学」の編纂、インターネット天文学辞典委員会の中心メンバー、国際天文学連合の発展等、天文学の発展・振興への特段の貢献があったことが説明された。岡村定矩氏を名誉会員とすることが賛成多数で承認された。

### III-7. 次期選挙管理委員会ならびに推薦委員会の委員長・委員について（資料10、鈴木）

次期選挙管理委員会の候補者（委員長1名、副委員長1名、及び委員3名）が提示され、賛成多数で承認された。また、次期推薦委員会の委員長候補が提示され、賛成多数で承認された。

### III-8. 2021/2022年度の理事及び監事の選任について

各候補者について投票の結果、賛成多数により候補者全員を選任することが承認された。選任された理事及び監事は以下の通り。

|    |           |    |           |
|----|-----------|----|-----------|
| 理事 | 山本 智      | 理事 | 古澤久徳      |
| 理事 | 太田耕司      | 理事 | 富田晃彦      |
| 理事 | 久保田（三谷）あや | 理事 | 生田（川村）ちさと |
| 理事 | 町田（中村）真美  | 理事 | 馬場（寺田）彩   |
| 理事 | 鈴木 建      | 理事 | 山村一誠      |
| 理事 | 酒向重行      | 理事 | 米原厚憲      |
| 理事 | 鹿野良平      | 理事 | 深澤泰司      |
| 理事 | 長瀧重博      | 理事 | 西 亮一      |
| 理事 | 江草（成田）実実  | 理事 | 北本俊二      |
| 監事 | 奥村（川邊）幸子  | 監事 | 花岡庸一郎     |

（注：（ ）内は戸籍名。）

なお、上記の理事体制全体には全く問題ないものの、将来的なPASJ理事の人選に関しては次の意見があった。PASJ編集長（理事）にはこれまで若手から中堅までの方が就任することが多かつ

たが、天文学会発行の国際誌として外国からも日本天文学会の顔として認知されるような面あるので、次回以後の人選にあたっては天文学会長と同等のよりシニアなレベルな方を検討してみてもどうかというのがその意見である。

#### IV. 報告

##### IV-1. 第7期代議員選挙について（資料12、鈴木）

第7期代議員数を22名とすることが理事会で承認された。また、第6期選挙と同じく今回も電子投票を導入する。投票用紙による投票方法を設けるかどうかは選挙管理委員会と相談することが報告された。

##### IV-2. 2020年度早川基金報告（資料13、鈴木）

2020年度の早川基金は2名採択されたが、研究会がオンラインに変更されたため、2名とも辞退したことが報告された。

##### IV-3. 理事会（2021年5月22日）報告/PASJ論文賞の内規改訂について（資料14、鈴木）

日本天文学会欧文研究報告論文賞は、選考委員会において受賞候補論文を選び、その論文の全ての著者に授与されてきた。しかし、現在の内規には、受賞候補論文と受賞候補者の両方を選考すると書かれており、実態との乖離がある。そこで、論文に対して授与する賞であることを明確にした内規の改訂案が理事会に提示され、承認されたことが報告された。他、PASJの紙版の電子化が進んでいること、紙版を廃止することを検討中であることが報告された。

##### IV-4. 学術会議・IAU分科会報告（浅井）

学術会議の説明、天文学宇宙物理学分科会の報告がされた。また、春季年会で特別セッションが開催されたこと、大型中型計画意思表明の締め切りがあったこと、8月にシンポジウムが開催されること、秋季年会で会員向けの活動を計画中であることが報告された。IAU分科会の各役職について、APRIM2023について、Dark & Quiet Skyの状況について、各種イベントの後援についての報告があった。

##### IV-5. 今後の年会開催地と開催地理事について（鈴木他）

2023年秋以降は開催地が決まっていないため、積極的な立候補をお願いしたい。

#### [資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録案

資料3 監査報告書

資料4 公益社団法人日本天文学会2020年度事業報告書

資料5 公益社団法人日本天文学会2020年度決算報告書

資料6 研究奨励賞選考継続審議報告

資料7 天文功労賞(短期部門・長期部門)

資料8 年会費と年会参加費等の改定

資料9 岡村定矩氏 名誉会員推薦理由

資料10 次期選挙管理委員会の候補者・薦委員会の次期委員長の承認

資料 11 次期理事および監事候補者一覧

資料 12 報告:第 7 期日本天文学会代議員選挙について

資料 13 2020 年度 早川幸男基金採択者(第 109 回～第 112 回)

資料 14 欧文研究報告論文賞内規改訂

2021 年 6 月 12 日

議長・署名人：梅 村 雅 之 印